

# まじわり

まじわり…多様な要素が生み出す新たな関係

土浦市に新たな交わりを生み、市民が愛着を感じられるまちにする

## 新市役所に『足湯カフェ』

市民と市役所のまじわり【Institution】

気軽に立ち寄れる市役所を目指し新市役所 2F に『足湯カフェ』を設置する。これにより、市民がゆったり出来る・自然と集まる空間を提供。また、市役所主催の朝活を足湯カフェで行い市民と市役所職員の交流をはかる。



足湯カフェのイメージ図

営業時間(足湯カフェ)

平日…07:00~17:00、休日…10:00~17:00



新市役所 2F 見取り図(案)

面積…157 坪

座席数…100 席

## モール505に高齢者住宅

高齢者を中心としたまじわり【Medical】

高齢者の利便性向上を目的とした高齢者住宅をモール 505 に作る。既存店舗の配置を換え、モール 505 の 2F・3F の半分を住宅にリフォームする。安否確認や生活相談サービスを実施。これによりモール 505 ににぎわいを取り戻し、高齢者には“駅前”というより便利な生活環境を提供出来る。

世帯属種	広さ [㎡]	戸数 [戸]	人数
単身世帯用	29~33	49	49
夫婦用	40~45	26	52
合計	2601.5	75	101

リフォームをした場合の部屋構成および入居可能人数

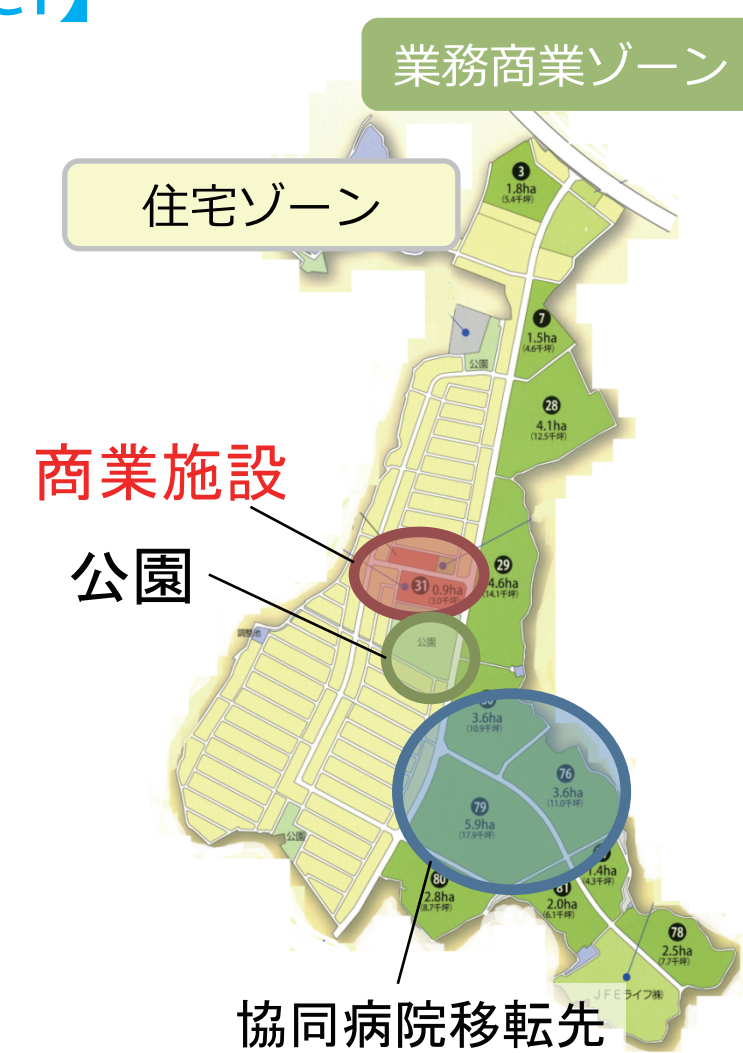


高齢者住宅のイメージ図

## コミュニケーション空間

住民同士のまじわり【Relief】

コミュニケーション空間&商業施設の足りないおおつ野。ここに商業施設を誘致し、交流の場の創出を目指す。主婦層をターゲットとしてスーパーマーケットを誘致。さらにキッズルームとママズラウンジを併設し、母親を中心とした交流の促進を図る。これによりコミュニケーション空間の創出をはかる。



図：商業施設の誘致予定場所



## おおつ野へのバス増便

バス利用者同士のまじわり【Access】

おおつ野には協同病院の移転が決定している。しかし、現状のバス本数では病院移転後の需要を担えない。そこで土浦駅⇄おおつ野間のバス増便を提案する。JICA STRADA を用いて渋滞を指標として計算を行いその結果から 36 本 / 日増やせばよい(20 人乗車 / 1 台で計算)。これによりバスの利便性を向上し協同病院移転により発生するとと思われる渋滞の緩和を果たすことが出来る。

図1、協同病院移転後の混雑予測

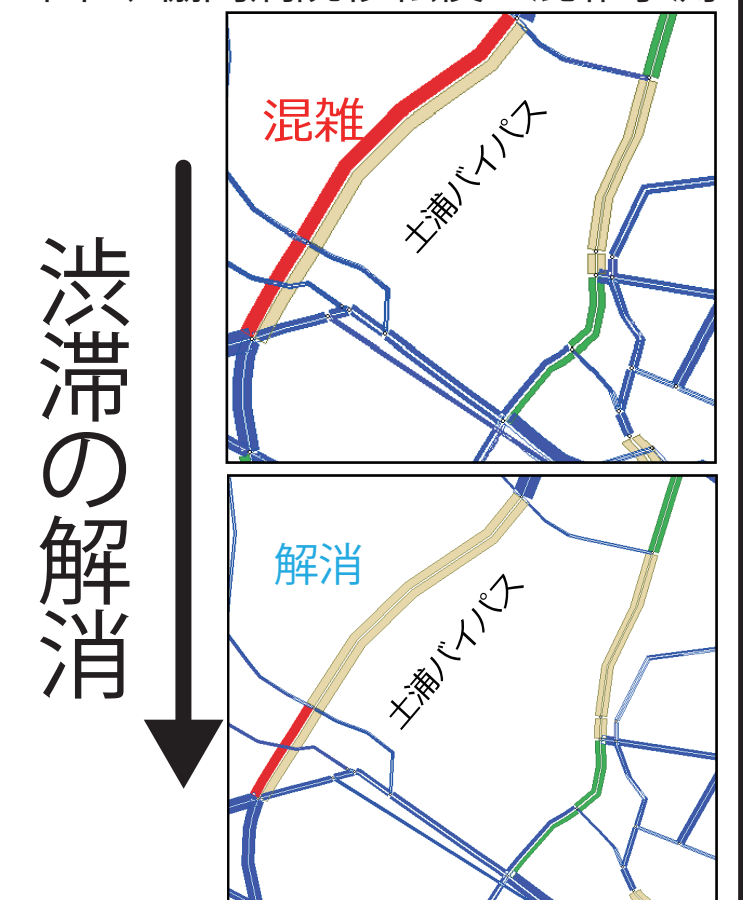


図2、図1にバス増便を加えた混雑予測

## 新規就農者の誘致・農業教育の推進

新規就農者と農業のまじわり【Agriculture】市民と農業のまじわり【Intelligent】

農業従事者の増加をめざして、新治地区への新規就農者の誘致を行う。年 15 人の新規就農者を呼べば、耕作放棄地の増加を止めることが出来る。これにより、新治地区の活性化をはかる。また、小中学生への農業体験を推進して若者の農業への関心向上を図る。新市役所の足湯カフェでは新治産の作物を提供し、農業へ触れる機会を増やす。これにより将来農業を担ってくれる世代の育成を目指す。



小学生の農業体験のイメージ図

## ご当地グルメ『つちうらっぷ』

住民と商店のまじわり【Joy】商店同士のまじわり【Work】

土浦への集客を狙ったご当地グルメとして『つちうらっぷ』を提案する。土浦産品を使用している、らっぷ=包んでいる、各店舗の個性がででいることが条件。これにより寂しい印象のある中心市街地に市内外から多くの人を集め、中心市街地の活性化を目指す。

図：活動のフロー

